

新聞とテレビの話をしてしよう！

2022年2月19日

■ やりがいのある仕事って何だ？



■ 「やりがい」 = 「やる」 + 「甲斐」 (価値)

2001年9月11日 米同時多発テロが勃発

■ ワシントンDCは事実上の戒厳令下

- ・ 信号は全て赤点滅、警官の代わりにMP、機関銃備えた「ハンビー」も

■ ホワイトハウスの真向かいから事件追う

- ・ 支局からの退去要請、ホテルが取材拠点、空には幾筋もの飛行機雲

■ 3カ月前のブッシュ大統領とのインタビュー

- ・ 冷戦崩壊後のアメリカの絶頂期。前年11月の大統領選挙は異例づくめ

最強のアメリカがピークアウト？

■ ペンタゴン（国防総省）の「用心」は生きたか

- ・ 事前に膨大なテロ情報。建物を改装してテロに備えたが…

■ ワールドトレードセンターの跡地を訪れる

- ・ 「ここは観光地ではない！」 金融街の中心にぽっかりと空いた巨大な穴

■ アフガニスタン、イラク戦争が勃発

- ・ アメリカによるアメリカのための戦争。巨額の財政支出と傷つく米の建国理念

なぜ新聞記者になったのか？

■ 歴史の「生き証人」になりたい！

- ・ 歴史は「できる」のではなく「つくる」
- ・ 埋もれ行く歴史をスクラップブックに張り付け残す

■ 真剣に「仕事」を考えたの大学時代

- ・ 最後まで残った「本当に新聞記者になりたいのか」の自問自答

■ 新聞記者の仕事は3K？

やりがいのある仕事に就きたい！

- 「やりがい」 = 「やる」 + 「甲斐」 (価値)
- 「甲斐」 = 「感情的要因」 + 「理性的要因」
- 「感情的要因」 = 心からわくわく、ドキドキする気持ち
- 「理性的要因」 = 仕事が社会に役立っているという意識

人生の設計図と棚卸しと再挑戦

- 関心の間口はできるだけ広く。嫌なことにも関心
- どんな人生を送りたいか、「人生の設計図」を作成
- 人生の節目で「棚卸し」を行い、設計図を手直し
- 必要なら新しい人生への「挑戦」も

アドラー心理学の幸福の3条件

- ① 「自分が好き」
- ② 「人は信頼できる」
- ③ 「私は貢献できる」

※ アルフレッド・アドラー。1870年ー1937年。オーストリア出身の精神科医、心理学者、社会評論家。
フロイト、ユングと並んで現代のパーソナリティ理論や心理療法を確立した1人（ウィキペディア）

ジャーナリズム & メディアってなんだ？

- ジャーナリズムは「日記」、メディアは「仲介者」
 - ・ ジャーナリズムの語源はローマ時代にシーザーが使った「Acta Diurna」。
 - ・ actaは「報告や記録」、diurnaは「日々の」（植村八潮 専修大教授）
- 最初のマスメディアは「聖書」？
- 本格マスメディアはイギリスで産声
 - ・ 1730年、初の広告付き新聞「デイリー・アドバタイザー」が誕生

今、メディアで何が起きている？

■ ジャーナリズムとマスメディアの定義

- ・ ジャーナリズムは民主主義に不可欠な情報を伝達し、社会正義を実現するための理念を掲げ、常に行動する「社会的装置」（植村八潮氏）
- ・ マスメディアはニュースを取材し、記事にして広く一般に伝える組織であり、新聞社、放送局（テレビ、ラジオ）、雑誌社などを指す。

■ 未曾有の危機の新聞とテレビ

- ・ 1年で200万部減少する新聞
- ・ テレビ広告、19年に初めてネットに後塵。コロナ巣ごもり下の視聴率低下。

構造変化するジャーナリズム①

- 多様化するジャーナリズムの担い手
 - ・ マスメディアがジャーナリズムの独占的な地位から陥落
 - ・ SNSなど「マイクロメディア」の急速な台頭。社会の分断や分裂を体現？
- 「マスメディア」から「マイクロメディア」へ
- ジャーナリズムの本来機能は何か
 - ・ テーマを設定し、取材し、記事にする
 - ・ ニュースを編集し、「優先順位」を付ける
 - ・ 権力に対するチェック機能

構造変化するジャーナリズム②

- 個人が受賞した米ピューリッツァー賞
 - ・ 警官によるジョージ・フロイドさん殺害現場をスマホで撮影した18歳の少女
- 個人の情報発信がジャーナリズムを変える
 - ・ 新聞やテレビのしがらみのない自由な情報発信が可能
- マイクロメディアはジャーナリズムの主役になれるか？
 - ・ SNSは世論はつくれるが「深堀の解説」は難しい？
 - ・ 「世論もまた暴走しやすい」 (立花隆氏)

民主主義の基盤としてのマスメディア

- 新聞、テレビのない「SNSだけの社会」はありか？
 - ・ トランプ現象が教えたSNSの怖さ。
 - ・ アメリカの大学のある実験結果
- 多様な見方伝えるマスメディアの機能
 - ・ 民主主義は様々な意見を聞いたうえで相対的に望ましい政党や候補者選ぶ仕組み
- 「暴走する世論」、誰がチェック？
 - ・ 直接民主主義とSNSの関係。仲介者（メディア）なき直接民主主義の怖さ

新しいジャーナリズムとメディアの形

- 民主主義の基盤としてジャーナリズムは重要かつ不可欠
 - ・世界的に分断進む中で異なる意見の重要性高まる
- 多様化するジャーナリズムが大前提
 - ・マスメディアは「One of Them」となり、中立的な意見交換の場を提供
 - ・専ら取材と編集を担うプロの組織あるいは集団の必要性
- 新聞、テレビ、ネット、コミュニティメディア、NPO等が連携
- 情報格差のないジャーナリズムとメディアの確立
 - ・SNSからこぼれ落ちる個人の情報受信と発信の支援

ご清聴ありがとうございました！